

# 「小久慈スマイルイルミネーション事業」 ご協賛ありがとうございます。



## イルミネーション協賛金 ご協力企業一覧

No.	会社名	口数	No.	会社名	口数
1	株式会社岩瀬張建設	4	17	下平自動車板金塗装工場	1
2	株式会社カヌカ・テックプラス	1	18	(株)十文字チキンカンパニー久慈工場	4
3	賀美鉄筋工業	1	19	紫波カイハツ生コンクリート(株)久慈工場	4
4	嘉村運送有限会社	1	20	新港運輸株式会社	4
5	有限会社久慈衛生社	1	21	新田電気株式会社	2
6	久慈琥珀株式会社	1	22	有限会社田高組	1
7	久慈スズキ自動車販売	1	23	中 新	1
8	久慈地域エネルギー株式会社	4	24	中山設備	2
9	共同企業体 久慈中央アスコ	1	25	有限会社八香園	1
10	久慈東日本商事	2	26	有限会社光衛生社	1
11	株式会社久慈レミコン	4	27	ヒカリ総合交通株式会社	4
12	有限会社九戸印刷	1	28	古山敬事務所	1
13	有限会社クボタ水道工業所	1	29	水上看板工芸	1
14	小久慈焼陶芸苑	1	30	南建設株式会社	2
15	株式会社佐幸本店	2	31	宮城建設株式会社	20
16	三陸観光株式会社	2	32	株式会社雷設計事務所	1

〔掲載はアイウエオ順〕

### 「小久慈スマイルイルミネーション事業」について

今年はコロナ感染予防対策として小久慈まちづくり協議会の三大事業（運動会・敬老会・文化祭）を中止しましたが、コロナで暗い世相を明るく照らすスマイルイルミネーション事業を文化祭の代替え事業として企画し、地元の企業様へ協賛金をお願いしたところです。

10月29日に事務局で町内32企業様を訪問し趣旨を説明し、8日の朝市が終了した9日より最寄りの町内会長役員等が各企業様にお伺いし、上記の企業様より総額390,000円の協賛金を戴きました、ご協力ありがとうございます。

紙面をもって企業様、小久慈町民の皆様にご報告申し上げます。

なお、頂戴した協賛金は特別会計として来年度以降もイルミネーション事業に活用いたします。

お陰様にて小久慈市民センターで12月1日午後4時に点灯式を行い、2月末まで点灯することとなります、文字通り小久慈を明るくする事業として、大勢のご来場をお待ち申し上げます。

◎点灯期間  
12月1日～  
2月28日  
◎点灯時間  
16:00～22:00

## 第2回

# 小久慈朝市 大盛況

～久慈東高校も初参加～

**はじめに** 朝市はコロナ感染症関係で10月から始め、第2回目となる「今年最後の朝市」を11月8日（日）いつもの旧長内中学校玄関前で開催しました。

天気予報では「晴」でしたが、6時頃から小雨になりビックリしましたが、スタッフが会場準備を始める7時には雨が上がり一安心でした。

テント張やテーブル、イスのセッティング等手際良く進み、7時30分には来場者の列が出来ました。

今回もコロナ対策のため、入り口を「校門」一カ所とし、「検温」「名簿記載」「マスクの着用」をお願いしました。

### 今回の特別企画（イベント）

朝市チーム会議で、今年最後の朝市について「イベント性のあるものを」と話し合い「共通割引券（商品券）」を作りました。

先着200名様のお抽選で50名様に「100円の割引券（商品券）」が当たり、当日の買い物に使用され、出店者は本部で換金（手数料相殺）するものです。

従って、出店者から戴いた手数料の概ね1/3が来場者に還元される企画です。たいへん喜ばれたイベントでした。

### いよいよ今年最後の朝市です

検温、名簿記載、割引券の抽選を終え、朝市会場入り口に長い列が出来ました。

後尾を見ると遠藤久慈市長夫妻もお並びで、急遽開会セレモニーでのご挨拶をお願いしました。

7時55分開会セレモニーです。鹿糠まちづくり協議会会長から、今年最後の朝市への出店者と来場者へ御礼の挨拶があり、遠藤久慈市長（写真右）からは「小久慈では素晴らしい地域交流の場を創っている。地域の宝として継続して頂きたい」と祝辞を戴きました。

いよいよ8時渡邊リーダーの開会宣言です。宣言に併せて、横合の水上市雄さんの製作した「桜の木の拍子木」でチョチョーンと開会の合図です。

今回は10月より3店舗多い15店舗（2頁参照）での開催です。

【次ページへ続く】



開会から大賑わい



開会前から長蛇の列（名簿記載）

## 小久慈

# まちづくり通信

第 56 号

令和 2 年 12 月 1 日  
小久慈まちづくり協議会広報委員会  
久慈市小久慈町 21-47-14  
小久慈市民センター  
電話 59-3051

2・3頁記事  
第2回朝市  
親子ウォーク  
4頁  
小久慈スマイル  
イルミネーション

**朝市** トピックスは、久慈東高校初出店です。今年は文化祭や市役所等での販売も出来なかったことから、大切に育て綺麗に咲いているシクラメンを販売、30分位での完売第1号です。

天気も良かったことから、ご来場の皆さんは10月より100名程多く、好みのお店には人だかりとなり、やむなくソーシャルデスタンスの注意アナウンスもされました。

割引券を手に馴染みのお店で品物を選び交流の輪が大きく広がりました。

カフェコーナーには休憩所が設けられ、自家焙煎コーヒーや軍配餅、がんづきを楽しむ人で、テーブルが空く暇がありませんでした。

9時過ぎより人の出も薄くなり、出店者に「9時15分から閉店準備開始」を知らせて最後の売り込みです。場内アナウンスも「あと15分、残り少ないよ」と閉店間近を知らせています。

9時15分に拍子木のチョチョーンで閉店のお知らせを行い最後の朝市が閉会となりました。

第2回小久慈朝市は、来場者約350名、出店者約30名、スタッフ約20名の合計約400名で小久慈の賑やかな交流の場が出来ました。

今年最後の朝市に出店されました皆様、ご来場頂きました皆様コロナで大変な1年でしたが、地産地消による地域交流の一時をありがとうございました。

市長の祝辞でも期待されていましたが、来年も開催しますのでよろしくお願い致します。

**おわりに**

10月に続き今回も昨年の台風第19号による被災者への義援金を取り組みました。

第1回朝市(6,779円)、次の朝市までセンター窓口(1,000円)、第2回朝市(3,108円)と募金箱を設置、合計10,887円のご厚志を賜りました。

11月11日には、鹿糠会長、八屋事務局長、渡邊朝市リーダーで久慈市福祉事務所にお届けしました。

また、歴史民俗資料館の開館や資機材、倉庫をお借りしている久慈市文化課(アンバーホール)へ伺い大向集落支援員も同行しお礼の挨拶と来年のお願いをし、また、未来づくり事業のご指導を頂いている地域づくり振興課を訪れ部長、課長、担当者へ御礼を行いました。

今年の朝市の事業は終わりましたが、今後チーム反省会や出店者のみなさんとの反省会等開催し、来年に向けて取り組んでいきます。

大変ありがとうございました。

小久慈まちづくり協議会  
事務局長 八屋 勉



第2回朝市(11月8日)の出店者一覧

No	出店者	品目等	備考
1	ルピナス	野菜、山菜、漬物	代表:堀内英子
2	水上農園	野菜、果物類	水上静雄
3	萩生田さと子	野菜、切餅、餅米	
4	日沢志奈子	赤飯、団子、がんづき	
5	中山勝広	新米、ピザ、でんがく等	
6	馬内エイ子	野菜類	
7	あま処	クレープ、がんづき等	代表:佐々木るみ子
8	カフェチーム	自家焙煎コーヒー	代表:岸里卓見
9	小久慈体協	クジ引き、お菓子	
10	小久慈焼	訳あり品等	小久慈焼チーム
11	山根未来づくり会	軍配餅他	
12	ばあばカフェ	スイートポテト、和菓子	幸町
13	水上ハツネ	野菜	
14	馬渡善幸(久慈未来)	焼き芋	
15	久慈東高校	シクラメン	

# 今年も元気に親子(誂子平)ウォーキング

全国的に新型コロナウイルスの感染拡大が収まらない中、親子ウォーキングは屋外の行事と言うこともあり、感染対策を取りながら35名の参加で実施することができました。今回は、事前に親子で話し合いは行われず、事務局として昼食のメニューやレクの内容を考え準備しました。

11月1日(日)8時30分に中里公園で出発式を行い、佐々木栄幸体育文化部長と鹿糠勇まちづくり会長の挨拶があり、9時片道3.9kmのウォーキングの出発です。

子ども達、保護者、一般参加者をA班とB班に分け、子供教室の「こども見守り隊」が間や後尾に入り、クマ避け鈴や呼子を持ち熊対策も万全にして、八屋事務局長を先頭に出発です。

ウォーキングの途中で八屋事務局長による「ミニ森林教室」です。

イチイ(オンコ)は聖徳太子が手で持っている笏(シャク)を造る樹で、尊い樹とされ「一位」の冠位を授かった等々、小休止を兼ねていろんな樹木等の説明がありました。

子ども達は元気が良く「先頭を追い越しちゃダメ」と何回も注意され手を繋いでの楽しいウォーキング、森林教室の説明が多かったのか予定を15分オーバー10時45分に到着しました。

いつも通り広々とした草原(誂子平)に着いて、まずは皆で昼食作りです。今年は久しぶりに豚汁がメニューで、先発隊が薪でお湯を沸かしてくれました。子どもたちは割と低学年が多く、包丁さばきも心配されましたが、親の見守りもありスムーズに進行し、時間より早く出来上がり、絶妙な味付けで皆さん満足げに食べていました。

昼の休憩でも子どもたちは元気よく走り回ったり、ボール遊びに夢中になっていました。レクレーションは、ドッジボールから行い、A班対B班対抗で親も入りました。やはりボールを強く投げられる人は限られていて、低学年の子どもたちはボールから逃げるのに必死でした。しっぽ取りはさらに盛り上がり、きゃーきゃー叫びながら走り回っていました。最後に「大人対子どもでやりたい」と子どもから要求があり、やってみたら作戦的に勝った大人の圧勝でした。

小学校低学年から高学年まで、保護者からサポーターまで皆が幅広く楽しめたのではないかと思います。現地出発前にみんなで記念写真を撮り、午後2時誂子平を出発です。

帰り道は急な下り坂で玉石も多く、滑りやすいので走らず靴底をシッカリ着けて下りました。登りより下りは危険です、走らないよう手を繋いで歌を歌いながら楽しく下りました。帰り道は樹木の説明は殆ど無く、2カ所の休憩でしたが、岩瀬張の中里公園到着は3時30分になりました。

登り1時間45分、下り1時間30分のウォーキングでした。

解散式では、子ども代表の4年生島山模吏君は「とても楽しかった」、大人代表として大下美香子さんは「植物の話に興味があり勉強になった」などの感想発表がありました、いずれも初めて参加したそうです。

